



野垣あきこと まちづくりカフェ

HPはコチラ



2026年2月25日 No.244

連絡先 090-9293-8710 ご相談どうぞ!

杉並区議会第1回定例会

住民の暮らしを守る区政を 杉並区の来年度予算の審議



代表質問する山田耕平議員

2月12日、山田耕平議員は会派を代表して代表質問を行いました。岸本区政が掲げてきた「対話と協働」「公共の再生」の到達点を確認し、今後、これをさらに区政運営の土台として定着させるよう求めました。

区長の答弁では「聴くくオフ・ミーティング」をはじめ、気候区民会議や子どもの権利条例のワークショップ、参加型予算など、対話の取組が分野横断的に進められたことが示されました。

これまでの対話の実績は44事業、実施回数468回、参加者の延べ人数は約1万8千人にのぼります。実施した所管課数も延

2月12日〜3月19日、杉並区議会第1回定例会が開催されています。今定例会は、来年度予算を審議する重要な議会です。

岸本区政の4年間を総括し、前進を確かなものに



答弁する岸本聡子区長

べ41課に広がり、全庁的に定着浸透しつつあります。

前・田中区政では極めて弱かった住民参加の仕組みが、区政の土台として広がりつつあることが明らかにになりました。

物価高から区民生活を守る

長引く物価高のもと、光熱費や食料品の値上げが区民生活を直撃しています。

質問では、単発の支援にとどまらず、住宅の断熱化や再エネ活用を進め、光熱費負担を継続的に軽減する対策を求めました。

区長からは、区民生活への影響を重く受け止め、支援と構造的対策を組み合わせて取り組む考えが示されました。

国保料の大幅値上げに対し 区はどう対応するのか

東京都が示している納付金の増額により、来年度の国民健康保険料の大幅な引き上げが懸念されています。

質問では、値上げの構造を明らかにし、区として区民負担を抑える努力を求めました。

区長からは、負担増の影響を踏まえた対応を検討する姿勢が示され、法定外繰入によって被保険者の負担を抑える必要性が明確にされました。さらに、国に対しては財政支援の強化と合わせ、保険料そのものの軽減策の拡充を強く求めていくとの考えが示されました。

代表質問の動画は以下の二次元コードからご覧ください。



9日から予算特別委員会

来年度予算案を審議する予算特別委員会が3月9日から始まります。ぜひ傍聴にお越しください。当日、区役所中棟3階議事事務局で受付をしています。

党区議団の質疑の日は、区議団控室までお問い合わせください。☎3331212221(代)

住まいは権利！

家賃助成の対象拡大、高齢者住宅の拡充を求め 一般質問

第1回定例会が行われています。2月17日の本会議では、党区議団のくすやま美紀議員が、住宅施策について一般質問しました。**公営住宅や家賃補助制度で住まいの権利の確保を**

国が5年

毎に実施す

る「住宅・

土地統計調

査」の20



23年の調査結果では、杉並区

では、持ち家世帯約12万6千

世帯に対し、民営借家世帯は約

17万6千世帯と、借家世帯が

大きな割合を占めています。

障害者など対象の拡大を

今年度から始まった区営住宅

に落選したひとり親・多子世帯

を対象に、区が家賃助成制度(左

下二次元コードから

詳細)を始めたこと

は貴重な前進です。



しかし、障害者や高齢者など、

家賃負担に苦しむ世帯は他にも

多いこともあり、対象を拡大す

るよう検討を求めました。

区は、対象の拡大について、

現行制度における効果を見極め

ながら、公平性や持続可能性も

踏まえ、慎重に検討する、と答

えました。

セーフティネット専用住宅

岸本区政のもとで、セーフテ

ィネット専用住宅の目標を昨年

度10戸、今年度20戸へと拡

大したことは貴重な

前進です。(下二次元

コードから詳細)



しかし、必要とされる規模か

ら見れば、まだまだ足りません。

制度を活用してもらおう大家さ

んの拡大に向け、取組の強化を、

と求めました。

区は、セーフティネット住宅

を増やすには、大家さんの不安

を取り除くことが重要、不動産

関係団体の協力を得ながら、協

議する場を作り、不安を取り除

くための手立てを検討し増加に

繋げたい、と答弁しました。

みどりの里の増設

高齢者住宅「みどりの

の里」(下二次元コー

ドから詳細)は、单身24戸に2

38人(9・9倍)、2人世帯11

戸に53世帯(4・8倍)が応募

するなど、不足しています。



年金より家賃が高く、くらしが大変な区内の70代女性の声などを紹介し、戸数の増加、小規模アパートの借り上げなど、多様な手法による高齢者住宅の確保を求めました。

区は、みどりの里の新設は、用地確保や建設費の課題があり難しい、低廉な家賃で入居できるセーフティネット専用住宅の新規登録戸数を増やすため取組を進めていきたい、と答えました。

私も、女性や高齢者、障害者の方々から住まいの相談を受けることが多く、制度拡大に向けて全力をあげます。

原田あきら都議事務所

弁護士による法律相談

毎週 水曜・金曜
14時～16時

会場 日本共産党杉並地区委員会
高円寺南3-30-12

電話 03-3314-5551
(予約不要、先着順に受付)



22日に行われた「杉並・中野・渋谷多喜二祭」で司会を務めました。多喜二が火鉢にあたっている写真で有名な馬橋の家は、今の阿佐谷南2丁目にありました。その馬橋の家のすぐそばに住み、多喜二を支援していた若杉鳥子という女性プロレタリア作家をご存じでしょうか？ その若杉鳥子のいた屋敷が、私が20代の頃に住んでいたアパートの場所にあったのではないかとこの話を、杉並平和委員

あきらの部屋

会の方から聞いたことがありました。私にとって、多喜二を身近に感じたエピソードでした。多喜二祭で紹介された小説「アンブレイカブル」の解説には、「多喜二は悲劇的に死んだかもしれないが、決して悲劇的に生きたわけではない」とあります。総選挙の後で、高市鬱という方も多いようですが、改憲やスパイ防止法を許さないたたかいを、決して悲劇的ではなく明るく続けたいと思っています。